

THE ROTARY CLUB OF NAGOYA-CHIKUSA



WEEKLY

なごや ちくさ

題字 黒野清宇

名古屋千種ロータリークラブ
 承認 1982年 8月24日
 例会日 火曜日 12:30
 例会場 愛知厚生年金会館
 事務局 TEL763-5110 FAX763-5121
 会長 吉田 節 美
 幹事 石黒 正 則
 会報・雑誌委員長 大 口 弘 和

No. 43

ロータリーの夢を追い続けよう

FOLLOW YOUR ROTARY DREAM

1998~99年度 RI会長 ジェームスL・レイシー

きょうの例会
 第810回 平成11年6月29日(火)

友愛の日

先週の記録
 第809回 平成11年6月22日(火) 雨

吉田(節)会長挨拶

去る6月4日、環境パネルと東山植物園に於けるホテル生育のビデオの贈呈式が行われ、代表して贈呈して参りました。行政参加のもとに格調高く行われ、校長会の方からも感謝の言葉をいただき大変有意義な事業に田部井環境保全委員長始め委員の皆様、ホテル生育に関与された石黒幹事に対し改めて労をねぎらうものであります。その際には鷺谷さんの御力添えで中京テレビから取材をしていただき、当日ニュースとして放送され、クラブの活動の大変なPRとなり厚く御礼申し上げます。

1970年、ニクソンアメリカ大統領が「今年は国際的にも大気、土地、水などの環境に与えて来た破壊に償いを始める元年である」と宣言しました。あれから約30年がたとうとして居るにもかかわらず、世界各国の環境汚染への関心は高くなってきてはいても、地球の汚染は依然として進んでいるのはなぜでしょうか？未だ殆どの市民は「地球は無限の広さと膨大な資源があるから大丈夫」と楽観して居るのが現状なのではないでしょうか？そんな意味で環境パネルが心の教育の一助ともなれば大変幸いと思う次第であります。

- ◆ “それでこそロータリー”
- ◆ 黙 想 ~ 梅雨の入り ~
- ◆ 出席報告

会 員	68(67)名	出 席	48名
出席率	71.64%		
前々回	6月1日(修正出席率)	98.48%	
- ◆ ビジター紹介 1名
- ◆ ニコボックスは紙面の都合上、次回掲載と致します。

石黒幹事報告

1. 次回例会終了後、理事役員会を開催致しますので理事役員はお残り下さい。
2. 名古屋北RCカメラ友の会より作品展のご案内が来ております。6月22日~28日までNHK名古屋放送2F展示コーナーです。興味のある方はお出掛け下さい。
3. ロータリー適用相場、現在1ドル115円が7月より122円となりますのでお知らせ致します。
4. 受付に設置しておりますペティBOXを本日開き次回金額をご報告致します。

田部井環境保全委員長報告

環境教育用パネル“環境とわたしたち”の贈呈が6月4日、保健所所長以下多くの立ち合いのもと厳かに行なわれ、鷺谷さんのお手配により当日中京TVのニュースで放送されましたので後程ビデオにて皆様にご覧頂きたいと思っております。この件に関し名古屋市長より30日に会長宛てで感謝状を頂くことになっております。改めて皆様の御協力に感謝申し上げます。

国際大会(シンガポール)報告



6月12日、一行15名、名古屋空港より一路ランの花咲く南国シンガポールへと出発致しました。当日は旅の疲れを癒す為休養をとり明けて13日、空き時間を利用し、市内見物に出かけました。シンガポールは大変清潔で緑は美しく、行く度に心強さを感じさせる国であります。

大会が始まり午後7時点鐘、開会宣言、黙とう、大会委員長に依る開会の辞、ロータリー加盟国126ヶ国の国旗入場式、レイシーRI会長の歓迎の辞と約2時間に渡る素晴らしいイベントでございました。

世界のロータリアンが集り、子供達の福祉、識字計算能力の向上、ポリオ撲滅などのもろもろのロータリーの念願のプログラムを討論する場が開かれるという事は素晴らしい事だと思ひ、又、私個人にとりましても真のロータリーの友情を痛切に味わった心に残る旅でありました。

◆講演

“科学の発達と20世紀末の困惑”

会員 水野 宏君



あと六か月もすると今世紀が終わり二十一世紀をむかえます。二十世紀とはどんな時代であったのでしょうか。端的に言えば、極大と極小への挑戦の世紀であったと思います。

1903年ライト兄弟の人類初の動力飛行に成功したのをかわきりに、航空機産業が大きく発展し、やがて人類が夢を見た鳥の様に空を飛ぶことができるようになりました。

50年代にはビッグバン理論や銀河系の解明が進み宇宙開発競争になりました。スプートニク1号が成功して間もなく、アポロ11号による月面着陸が成功し、人類が初めて地球以外の大地を歩くことになりました。ハッブル望遠鏡がとらえる映像は次々に広大な宇宙のなどを説き明かしていきました。

一方、極小の世界では今世紀初め、物質の最小単位である原子の構造が明かされ、原子は核があってその周りには電子があり、核には陽子や中間子がまわっていることが証明されることになりました。このことは後に原子爆弾の製造につながり、原子力発電にも利用されることになりました。

医学の分野では人工受精が行われ、体内受精にとどまらず、体外受精として顕微鏡下での受精卵を用いての試験管ベイビーの誕生を可能としました。受精卵は代理母でも出産出来るということになると、受精卵こそ生かすかも知れないということになりました。このことは生とはおぎゃーとって生まれてきた時が生であるというキリスト生誕以来の概念を崩すことになりました。

また臓器移植の分野でも大きな展開をむかえました。しかしこのことは心臓が動いていても脳が活動で

きなれば死であるという人類始まって以来の死の定義に混乱をきたすことになりました。

二十世紀の人類は豊かになるために、科学者の成功をたたえ、その恩恵を受けてきたはずでありました。空調を備えた家に住み、森林伐採を推し進めました。車を手にし、排気ガスをまき散らしました。気がつくと、大気汚染は進み、オゾン層を破壊したり、温暖化現象という地球の気象環境まで変化しかねない事態が起こっていることに気づきました。

生活の中で便利さと快適さの富の結果でもあるごみの廃棄がPCBやダイオキシンなどの環境ホルモンを生み出したことに驚いたのです。

人類の破滅は宗教や領土や民族の紛争が原因だと考えてきた人類にとって今世紀末にわかってきたことは自分たちの誇りにしてきた科学の発達こそがその裏にもっと大きな破滅の原因をも道ずれにしていることを知らされたのでした。

科学者や技術者は原子力発電を作っても、その後の、核処理の技術まで開発していなかったのです。ビニールという軽くて自在に形作れる便利な材質を提供してくれてもそれを燃やすとダイオキシンがでることも教えてくれませんでした。

二十世紀が教えてくれたものは、技術が進歩しても、それがすべて福音になるのではなく、ここまでは良い、これはだめだと言える、一般大衆の信念や哲学がもっとも必要なことであることを認識することだと思ひます。

今世紀末までに積み残された大きな問題をどう解決するかが新世紀初頭のかかえる新しい意味を含めた科学技術の出発点になることであらう。

訃報

名古屋ビルサービス(株)

相談役 西尾 正巳君



昨年11月末にて退会なさいました西尾君が、6月23日肝臓癌の為ご逝去されました。享年65歳

平成元年9月ご入会后、プログラム、職業奉仕、会報の各委員長他多くの委員を務められ、平成10年11月末に退会なさるまで9年間在籍なさいました。体調を崩され、ここ一年休会していらっしゃいましたが、ゴルフ同好会にも入れお元気な時はよくプレーを楽しまれていました。

心からご冥福をお祈り申し上げます。

◆次回例会(7月6日)

新・旧会長挨拶

前年度皆出席者表彰